



無線 LAN 設置者のみなさんへ

最近の利用者はより安全な無線 LAN を求めています

これまで一般の利用者が無線 LAN に求めているものは、「簡単な接続」、「快適な通信速度」でした。しかし、2016 年リオ・オリンピックでは競技の開催に合わせ、会場周辺に無線 LAN が急速に整備された結果、悪意を持ったユーザーも集まってしまい、その状況は「ハッカーの祭典」と形容されました。このようなこともあり、近年、無線 LAN に対する利用者のセキュリティ意識は急速に高まりつつあります。

安全な無線 LAN を設置するためのポイント

無線 LAN の設置については多くの対策すべきポイントがあり、技術的にそれなりの知識が必要なことも多いですが、設置者としては、以下の 4 点を主な柱として考えておく方が良いでしょう。また、業者等に委託して既に無線 LAN を設置済みの場合、その設定が以下の 4 点についてどうなっているか、問い合わせていただくのも良いかもしれません。

暗号化

電波は目に見えませんが、広範囲に拡散しますので、そのエリアにいる誰もが傍受することが出来てしまいます。このことから仮に電波が傍受されたとしても、その中身が分からないようにするための措置が暗号化です。

分離機能

同じ無線 LAN を利用している利用者同士は、同じネットワークに属することになりますから、不正アクセスが出来てしまう可能性があります。これを防ぐため、インターネットには接続できても、利用者同士の通信が出来なくするための措置が分離機能です。

本人認証

無線 LAN は、自らの痕跡を消した（自分ではない誰かになります）状態でインターネットにアクセスする格好の場所といえます。悪意を持ったユーザー達はこうした場所を利用して、ウイルスを拡散したり、不正アクセスなどを行います。このなりすましを防止するための措置が本人認証（メール、SNS、SMS、アプリなど様々な方式があります）です。

利用者への注意喚起

上記の他にも無線 LAN によるインターネット・アクセスは、様々なリスクが存在します。これらの全てを防ぐことは困難であり、設置者側からも無線 LAN 接続の危険性を利用者へ周知する、より安全な通信方法を推奨するなどの注意喚起を行っていただくことも重要です。

公共施設、宿泊施設に無線 LAN があるのはもう常識？

東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴いたくさんの外国人観光客が日本に訪れようとしています。こうした人々の中にはスマートフォンやタブレットを持ち、訪れた日本の風景や食事を写真でとったり、その印象を綴った文章を SNS に投稿しようとする方がたくさんいるものと思われます。

ある統計によれば、外国人観光客が来日して不満を感じたことの上位には「無線 LAN がない」が入っていました。先進諸国では公共施設や宿泊施設に無線 LAN があるのはもはや当たり前になっている国が多いことから、日本でも当然使えるものとしてやって来たら、思いの外設置されていない実情に不満を感じるのではないのでしょうか。